

[活動のタイトル] 要配慮者・未熟練者・高齢者の配置見える化

<見える化の分類>

安全衛生情報の見える化

<活動の概要>

- 目的(課題)

要配慮者・未熟練者・高齢者は、色別ワッペンで管理しているが、実際にどこで作業しているか作業日報だけでは把握できず、現場巡回時のフォローが手薄になる。

- 手段(実施内容)

要配慮者・未熟練者・高齢者がどこで作業しているか分かるよう事務所のホワイトボードに掲示し、見える化した。

- 効果(実施内容によって期待される効果)

社員及び職長、安全パトローラー全員が現場巡回時、配慮すべき作業員を特定し体調確認および安全指導することが期待できる。

- 結果(活動の成果)

社員・職長が要配慮者等の名前と作業場所を把握することで、要配慮者等の作業状況をフォローすることができた。

